

みんなちがって みんないい

ドバイ日本人学校では、11月4日から11月21日までを「人権旬間」とし、全校で人権について考えました。人権というとても難しい言葉ですが、本校では、人権旬間に二つのことに取り組みました。一つめは「やさしさの木」。そして、もう一つは「フィンガーファイブプロジェクト」です。「お互いのちがいを認め合うこと」や「相手を思いやること」について、児童生徒一人ひとりが考えるきっかけになってほしいと思い、人権旬間中にこれらの活動に取り組んできました。実際にこれらの取り組みを通して、子どもたちは、友だちのよさを見つけたり、自分のよさを見つけたりすることができました。

